

5. 完成までのスケジュール

完成までの全体スケジュール及び年度別開発業務を以下に示します。

(1) 年度別開発業務

年度別の主な開発業務を下表に示します。

表5 - 1 年度別開発業務

| 年度 | 開発業務 | 特記事項 |
|--------|---|--------------------------|
| 平成14年度 | 入札・見積業務（公共工事） 入札参加資格者管理業務 業者データベースのコンバート、整備 | J A C I C コアシステム がベース |
| 平成15年度 | 入札・見積業務（物品、委託業務） 複数認証局対応 契約、施工管理事務支援業務他 | J A C I C コアシステム がベース |
| 平成16年度 | L G P K I 対応 | |

(2) 長岡市電子入札契約システムの構築スケジュール

電子入札契約システムの構築スケジュールを表5 - 2に示します。

(3) 開発工程別作業内容

上記、システムの構築スケジュールにおける各開発工程の作業内容を下表に示します。

表5 - 3 各開発工程の作業内容

| 開発工程 | 目的・作業内容 |
|---------------|---|
| 1 要件定義・設計 | システム化範囲（業務）や運用の流れ（ビジネスフロー）を明確化、機能、画面、帳票イメージを具体化することにより、認識のずれを少なくします。 システム設計を「ソフトウェアアーキテクチャ設計」「業務処理設計」「プログラム設計」の順にブレイクダウンし、製造工程で利用するプログラム設計書を作成します。 |
| 2 製造 | プログラムコードの標準化のためにコーディングの規約を作成し、アプリケーションプログラムの実装（コーディング）を行います。 |
| 3 テスト | 性能、信頼性、運用性、安全性において、上流工程で決定した仕様通りにシステム化されていること、及び、サービス開始可能な品質を確保していることを確認します。 |
| 4 移行 | システムの運用開始にあたり必要なデータのシステムへの投入環境の確保を行います。 |
| 5 設備工事 | ハードウェア、ネットワークの現況を実査、調査のうえ、必要に応じて電源、回線、アドレス等を増強し、サーバやネットワーク機器の搬入、据付け、現地調整を行います。 |
| 6 運用環境設定 | 運用環境・条件に沿って、ID、アドレス等のインストールやデータのセットアップを行います。 |
| 7 導入テスト、教育 | ハードウェア、ソフトウェア、センター及びデータまで、ほぼ本番と同じ環境で実施します。 その際、事業者及び職員も実際にシステムを操作し、運用に習熟して頂きます。 |
| 8 試行運用（段階的導入） | 指名競争入札と併用して、段階的に電子入札を導入します。 |

表 5 - 2 長岡市電子入札契約システム構築スケジュール

| 年度 | | 平成 13年度 | | 平成 14年度 | | | 平成 15年度 | | | 平成 16年度 | | | 備考 |
|------------------|--|----------------------|--|---------------------------------|------|---------|-------------------------------|--------------|-----------------------|------------------|--------------|---|------------------|
| | | | | | | | | | | | | | |
| 長岡市の計画 | | 基本計画策定 | | システム開発 | | | データ移行 導入テスト | | | 試行運用 (段階的導入) | | | 撤守時期 |
| 国 (中央省庁) の計画 | | JACI 要件 定義書 | | JACIコア (公共工事) 提供 (仮提供) | | | JACI コア (物品) 提供 複数認証局対応 | | | LGPKI | | | |
| 長岡市電子入札契約システムの開発 | 業務プログラム 及び データ移行 | 公共工事 | 入札から開札 (コア部分) | 基本計画策定 システム開発 委託仕様 計画書 | 業者決定 | 設計 | 製造 | テスト | 総合テスト (本番データ) | 最終テスト*1 導入テスト | 試行運用 (段階的導入) | *1 職員の操作、研修含む 業者の操作、研修含む | |
| | | | 入札参加 資格者管理 | | | 設計 | 製造 | テスト | データ移行 業者情報、工事、契約情報 | | | | 最終テスト*1 導入テスト |
| | | コア以外 契約、 施工管理他 | 設計 | 製造 | | テスト | 最終テスト*1 導入テスト | | | | | | |
| | 物品 | 同上 | 設計 | 製造 | | テスト | 最終テスト*1 導入テスト | 試行運用 (段階的導入) | | | | | |
| | 委託業務 | 同上 | 設計 | 製造 | | テスト | 最終テスト*1 導入テスト | | | | | | |
| | 認証局対応 | 認証 | 電子証明書 の登録、発行 | 設定 (複数認証局) | | 最終テスト*1 | | | | | | | |
| | | LGPKI | | | 設定 | テスト*1 | | | | | | | |
| ネットワーク ハードウェア | ハードウェアの搬入 据付け 回線、グローバルアドレス ICカードリーダー | | 開発業者のデバッグセンター ハードウェア 搬入、据付け 回線、グローバルアドレス申請 本番機設置 (入札参加資格者管理業務) | | | | | | | | | | |
| | ネットワークの LAN敷設 | | | | | | | | | | | | |
| 建物、センター | センター | | | | | | | 設置 (注) | | | | 注) センター設置場所は、現時点 では市役所内の電算室等を 想定しているが、将来、市場 動向を踏まえデータセンター への設置も検討している | |
| 記事 | | | | | | | | | | | | | |

6．資料

資料1．電子入札コアシステム開発コンソーシアムについて（抜粋）

（財）日本建設情報総合センター、電子入札コアシステム開発コンソーシアム事務局資料より抜粋

電子入札コアシステム開発コンソーシアムについて（抜粋）

1. 設立目的

（財）日本建設情報総合センター（以下「JACIC」という）及び（財）港湾空港建設技術サービスセンター（以下「SCOPE」という）は、国土交通省が平成13年6月に発表した「CALS/EC地方展開アクションプログラム（全国版）」の趣旨に則り、地方公共団体等の公共発注機関への円滑な電子入札システムの導入を支援するため、「電子入札コアシステム開発コンソーシアム」（以下「本コンソーシアム」という）を設立しました。

本コンソーシアムには、電子入札の導入を目指す公共発注機関と、システム開発能力を有する主要ITベンダーが参加しています。国土交通省が平成13年秋に無償公開する予定の電子入札システムを改善し、複数の公共発注機関に適用可能な汎用性の高い電子入札システムのコア部分（以下：コアシステム）を開発するための仕様検討及び普及策検討を行うことを目的としています。

2. コアシステムの開発

1) コアシステムの提供

JACICとSCOPEは、コンソーシアムの検討結果を受けてコアシステムを開発し、公共発注機関に有償で提供いたします。

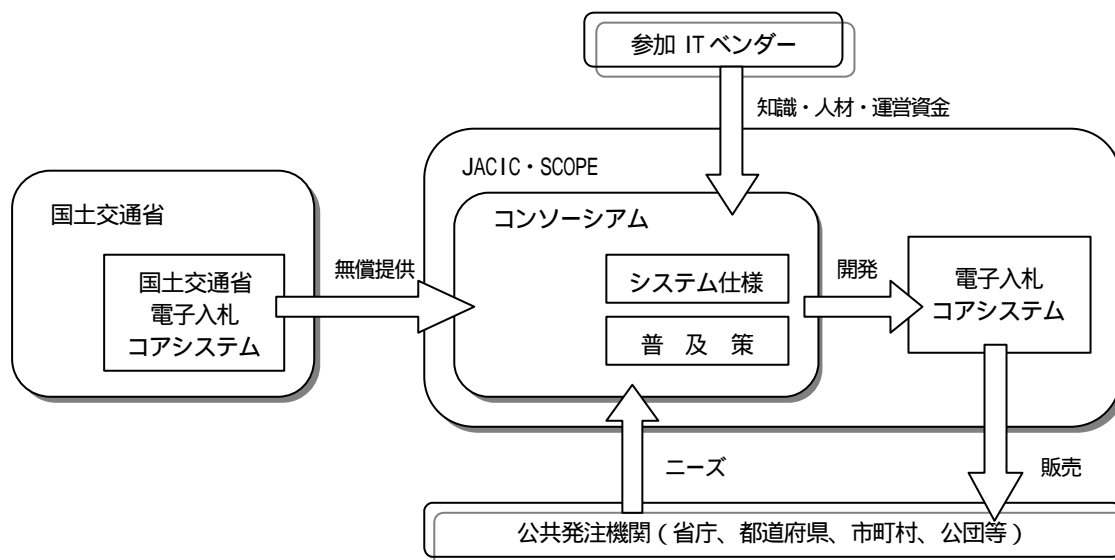


図1 コンソーシアムの概要とコアシステム

3. 体制

3.1 参加団体

本コンソーシアムは、正会員、賛助会員および特別会員で構成されています。それぞれの参加資格及び役割については次のとおりです。

1) 正会員

コアシステムを用いて、電子入札システムの開発する能力を有し、公共発注機関の電子入札システムの開発意欲を有する企業とします。本コンソーシアムでの議論及び意志決定

に参加できます。

2) 賛助会員

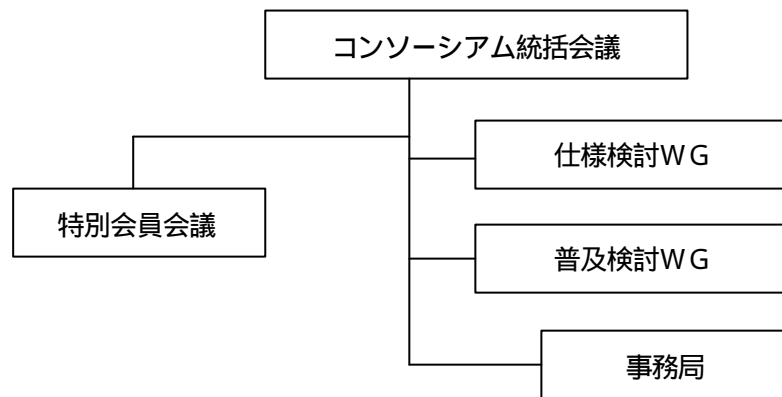
電子入札コアシステムの開発に関する情報を入手する必要がある企業です。本コンソーシアムに対する要望・意見をを行うとともに、最終報告書を入手することができます。

3) 特別会員

電子入札の導入を予定している省庁、公団、地方自治体等の公共発注機関です。本コンソーシアムに対する要望・意見をを行うとともに、会長が招集する会議へ参加することができます。会費等の特段の義務はありません。

3 - 2 活動体制

本コンソーシアムは、以下の体制にて運営しています。



WGの構成は必要に応じて見直しを行います。

1) 統括会議

J A C I C、SCOPE及び正会員より構成され、規約の改廃、その他コンソーシアムの運営に関する重要事項の審議、決定を行います。

2) 特別会員会議

特別会員（公共発注機関）より構成され、コアシステムの開発仕様及び普及方策について意見・要望を行っていただきます。

3) 仕様検討WG

J A C I C、SCOPE及び正会員より構成され、コアシステム基本計画、要件定義、仕様、導入手順等の検討を行います。

4) 普及検討WG

J A C I C、SCOPE及び正会員より構成され、地方自治体等の公共発注機関への普及策の検討を行います。

5) 事務局

J A C I C職員及び正会員からの出向職員により構成され、コンソーシアムの運営及び公共発注機関への広報等を行います。J A C I Cに設置されます。

平成13年8月6日（財）日本建設情報総合センター、電子入札コアシステム開発コンソーシアム事務局資料より抜粋